

2021年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名	生活支援の基本		教員氏名	出村由利子	
学年	専攻科		開講学期	前期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	看護師	18年
テーマ	自分を知り、生活の援助者としての自覚を深める				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	本講義は、介護者として支援の基本となる自分を見つめ、他者を理解することが目的である。そのため講義だけでなく、学生自ら調べまとめ、さらにそれらをグループ内で発表することや、グループワークで他者との交流をしながら、自分の理解と他者の理解を深めていく。教員自身の長い人生経験、医療現場や教育現場での経験を交えながら、授業を進め介護者としての心構えや基本的態度、援助が必要な方の心理を理解するための知識や技法を理解する。				
授業の 到達目標	1 交流分析や心理分析を通して自分を見つめ、支援者として自己開示し、他者との交流を通して、共感や受容とは何かを学び実施できる				
	2 日本の高齢者がおかれている現状を学び、さらに世界の高齢者事情を調査しながら、広い視野で日本の高齢者と心理を学び、口頭や文章で説明することができる				
	0				
テキスト	なし				
参考書	なし				
ポートフォリオ	ワーク1「自分を理解する」				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	レポート50% 課題ワークを含め30% 授業の取り組み20%		
	その他	0	なし		

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	授業の説明 生活とは 支援するとは	
	授業外学習	〈復習〉ポートフォリオ ワーク 1「自分を理解す」	210分
第2回	テーマ 内容	交流分析にて、自己覚知する	
	授業外指示	〈復習〉交流分析を活用し、自分の気持ちをレポートする	210分
第3回	テーマ 内容	日本の人口、高齢化率と世界との比較をする(1)文献を集め、文章にまとめる	
	授業外指示	〈予習〉関心のある国の高齢化事情を調べる 〈復習〉世界の中での日本の現状の課題を見つける	210分
第4回	テーマ 内容	日本の人口、高齢化率と世界との比較をする(2)各国の高齢者事情を発表する	
	授業外指示	〈予習〉担当した国の高齢化率と高齢者の生活を発表する準備をする 〈復習〉提示された課題に取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	加齢による身体変化、心理的变化を実際に高齢者体験して実感する	
	授業外指示	〈復習〉高齢者体験をレポートにする	210分
第6回	テーマ 内容	地域住民の高齢者をゲストスピーカーに迎え、学生が質問し、生活者としての思いを理解する	
	授業外指示	〈復習〉ゲストスピーカーの体験をレポートにする 高齢者の生活背景を理解する	210分
第7回	テーマ 内容	高齢者のライフスタイル、ライフステージ、ライフサイクルを理解する	
	授業外指示	〈復習〉ゲストスピーカーの話から様々な高齢者のライフスタイルや考え方をまとめる	210分
第8回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する課題研究(1)テーマ設定	
	授業外指示	〈予習〉研究テーマの設定	210分
第9回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する課題研究(2)研究目的	
	授業外指示	〈予習〉研究目的と方法を考える	210分

第10回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する課題研究(3) 研究内容	
	授業外指示	〈予習〉研究内容を明確にする	210分
第11回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する課題研究(4) 考察	
	授業外指示	〈予習〉研究内容を考察する	210分
第12回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する課題研究(5) 発表内容の完成	
	授業外指示	〈予習〉文献整理 研究をまとめ発表の準備をする	210分
第13回	テーマ 内容	まとめ・研究発表 提出	
	授業外指示	〈復習〉生活支援の基本で明らかになった自己課題を今後の学習に生かす	210分

#### 課題に対するフィードバックの方法

作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する。